

<株式会社エフエム東京 第387回放送番組審議会>

1. 開催年月日:平成 24 年 4 月 3 日(火)
2. 開催場所 :エフエム東京 本社 10 階 大会議室
3. 委員の出席:委員総数 7 名(社外7名 社内 0 名)

◇出席予定委員(6 名)

| | |
|-------------|-------------|
| 青 池 慎 一 委員長 | 横森 美奈子 副委員長 |
| 渡 辺 貞 夫 委員 | 内 館 牧 子 委員 |
| 西 田 善 太 委員 | 香 山 リカ 委員 |

◇欠席予定委員(1 名)

秋 元 康 委員

◇社側出席者(11 名)

富木田 代表取締役社長
唐 島 専務取締役
黒 坂 常務取締役
石 井 常務取締役
平 取締役営業局長
藤 取締役マルチメディア放送事業本部長
長 澤 常勤監査役
小 林 執行役員編成制作局長
延 江 編成制作局局次長 兼 番組制作部長
森 田 編成制作局局次長 兼 編成部長
原 田 番組制作部専任部長(オブザーバー)

◇社側欠席者(0 名)

【事務担当 小林放送番組審議会事務局長】

4. 議題: 番組試聴 (約 20 分)

「山下達郎の TSUTAYA サンデー・ソングブック」

2012 年 3 月 11 日(日) 14:00~14:55

パーソナリティ : 山下達郎

《議事内容》

議題1:最近の活動について

◎2 月度聴取率調査 結果について

ビデオリサーチ社による2012年2月度(調査期間2月20日～26日)聴取率調査結果が発表されました。今回は、メインターゲットである20代～30代について、30代の数字が顕著に上昇しました。課題であった平日デイトタイムゾーン(9時～18時)では30代男女で東京全局中首位となり、30代男性については、全日平均(月～日曜6時～24時)で首位となりました。また、12～59歳リーチでは引き続き首位を継続しております。一方、全般的に20代が伸び悩み、特に土曜日は20代女性が低迷する結果となりました。

4月改編では平日ワイドゾーンでの時事的、文化的企画、トークの強化とともに音楽量の増大を計画し、また、土曜デイトタイムゾーンでは音楽量の増加と選曲カラーの統一を目指しております。それにより20代～30代女性の継続聴取を拡大し、更なる聴取率アップを追求してまいります。

◎IP サイマル放送の実施状況について

IP サイマル放送については、放送エリアに準拠した受信制限を設けた「radiko」に参加しております。また、無料サービスである「radiko」と異なり、全国どこでも全国のFM ラジオ番組が楽しめる有料サービス(月額315円)である「LISMO WAVE」にも、昨年1月のスタート時より、当社は番組を供給しております。「LISMO WAVE」はau(KDDI)社のサービスであり、FM局はコンテンツの提供者という位置づけです。会員数は開始後1年で約5万人となりました。auは3月1日より、auが選んだ特定のスマートフォンアプリ約500種類が使い放題になるサービス「スマートパス」(月額420円)を開始し、「LISMO WAVE」はこの中の戦略的サービスとして採用されております。3月末時点で、会員数は約60万人に達しております。

「LISMO WAVE」と同じコンセプトで、TOKYO FMが実質的な事業主となってNTTドコモのスマートフォン向けに開発したのが「ドコデモFM」です。2011年12月5日のスタート後、計画通り有料会員数を増やしており、2012年4月1日現在2445人に達しております。

3月9日にはiTunes課金版「ドコデモFM」もサービスインし、アップル社のiPhoneやiPadでもドコモのスマートフォン版と同じサービスを使用できるようになりました。(350円/30日 ※ダウンロード後30日間は無料) iTunes課金版

は3月31日時点で、ダウンロード数は25,899となっております。ただしダウンロード30日後の有料移行への歩留まりは15%程度と推測しております。

以上のとおり、3キャリアのスマートフォンでサイマルアプリを課金ダウンロードいただける体制が整いました。これからは積極的な広報活動により、認知拡大と利用促進を図ります。特にスマホを利用したネット上の視聴サービス「YouTube」や「ニコニコ生中継」、あるいはfacebookやmixi、twitterのようなSNSのユーザーにリーチすることで、新規リスナーの流入、開拓につなげて参ります。

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側説明)

○(IPサイマル放送について) スポンサーのCMは入るのか、音楽の著作権はどのような考え方なのか。

■「LISMO WAVE」「ドコデモFM」では、基本的には、生CMや番組内パブリシティ以外の、タイム・スポット・時報CMはIPサイマル放送していない。これに準じておりますが、例外的に「radiko」では関係各所からの許諾が得られた上でCMもIPサイマル放送されている。
楽曲著作権料について、「ドコデモFM」に関しては、事業主であるTOKYO FMから著作権管理各所へ、協議の上定められた規定の料金を支払っている。

○聴取率調査の結果に対する見解は？

■メインターゲットである30代の聴取率がアップしたことはよいことだが、20代全般の総聴取分数が大幅に落ちていることが懸念のため、今後改善に力を入れていく。

議題2:番組試聴 (約 20 分)

【番組名】「山下達郎の TSUTAYA サンデー・ソングブック」

パーソナリティ : 山下達郎

【放送日時】 2012年3月11日(日) 14:00~14:55

【番組概要】

「山下達郎のサンデーソングブック」は、オールディーズ専門音楽番組で、スタート以来スタイルを変えずに放送しています。

東日本大震災からちょうど1年。震災発生時刻を番組放送時間内で迎えた放送も、基本的なフレームは変えずに「山下達郎が選ぶ音楽、言葉」、そして「山下達郎の歌」で構成しました。

山下達郎の音楽に対する愛情、番組に向き合う真摯な姿勢、リスナーの心境に配慮した言葉と歌は、さまざまな気持ちでこの日を迎えるリスナーに、「希望という名の光」を感じてもらえると思い制作いたしました。

前半はリスナーのお便りを紹介。後半は山下達郎の楽曲の中から、特に震災後リクエストも多かった2曲を貴重なライブ音源とともに放送致しました。

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見 / 「■」社側説明)

○参考資料として配布されている Twitter の反響を見て、山下達郎さんがファンから神格化された存在であり、ファンにとって大変満足できる内容であったことがよくわかる。本番組は、山下さんの個性を主役に作られており、本人の、番組に向かう姿勢が直接伝わる。このような、個人の個性が徹底的に生かされる番組の形は、ラジオならではのと思う。他のメディアではなかなかできない。

○山下達郎さんのファンではない人がどう感じるか、という見方も必要かもしれない。

○山下さん本人による言葉も、リスナーからの手紙も、抑揚なく淡々と読み上げられていて、台本に書いてあることをただ読んでいるように聞こえてしまった。

■山下達郎さんは、この3・11の放送では、被災地への想いや鎮魂の意を込めて、あえて自分の色をおさえ、まるで台本を読んでいるかのように淡々と話した。意図があって抑揚ない話し方をしていたことをお伝えしたい。

○個人的に、山下達郎さんのラジオを昔から聴いているので、山下さんの人間性、とにかく音楽が大好きな人だということを知っている。この日の放送で、山下さんというひとりのミュージシャンとして「音楽で感動させる」という、ある意味ベタな方向性を完璧にやりきったことが凄いと思った。個人的には100点の番組だったと思う。

○3・11の日は、各局で練りに練った企画を展開していたので、この番組を聴いていたひとは、あえてこれを選んで聴いた人がほとんどだと思うが、その人たちに対して精一杯こたえていた。
流れる音楽に、十分すぎる程の情感や想いが込められているので、抑揚のない語り口調が逆に音楽を際立てていた。

○メディア、チャンネルが多い時代において、3・11のような日、それを伝えるトーンは色々あった方がいい。多くの選択肢・様々なトーンの中から、聴取者がチョイスすればいい。震災直後はその選択肢がなかった。
今回の山下達郎さんのような番組も、あってよいものである。

○いつものフレンドリーでひょうひょうとした人柄の山下達郎さんが真摯に臨んだ番組に、大変好感を持った。棒読みのようなトークも、むしろ緊張感が伝わって、個人的には深く刺さった。涙が出そうになった。

○3・11の震災発生時刻にこの平常番組を、変わらぬ方針でやったことが何より素晴らしい。英断であった。Twitterを通じてリスナーからも同様のコメントが寄せられているが、わたし自身もそう思う。

○3・11の震災発生時刻で、「音楽番組としては荷が重い」という山下さんのコメントに共感し、好感を持った。本当に、制作者も山下さんも、大変だったと思う。この日の放送は緊張感があり、努力が強く伝わった。

5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

- ① 放送:番組「JOG LIS RUN GIRLS SUNDAY」
4月29日(日)5:00～7:30 放送
- ② 書面:TOKYO FM サービスセンターに据え置き
- ③ インターネット:TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp>

7. その他

次回審議会を、5月8日(火)に開催することを決めた。

以上